

“世界で一番美しい少年”が見た
天国と地獄、その衝撃の真実。

人間の美しさは、
人間力があると教えてくれる
Screen Daily

突然の名声が人生をどのように左右するのか
真摯に伝える唯一無二のドキュメンタリー
Vogue

“世界で一番美しい少年”と称賛され、一大センセーションを巻き起こした少年がいた。巨匠ルキノ・ヴィスコンティに見出され、映画『ベニスに死す』(71)に出演したビョルン・アンドレセン。来日時には詰めかけたファン達の熱狂で迎えられた。だが彼の瞳には、憂いと怖れ、生い立ちの秘密が隠されていた……。

そして50年後。伝説のアイコンは、『ミッドサマー』(19)の老人ダン役となって私達の前に現れ話題となる。彼の人生に何があったのか。今、ビョルンは、熱狂の“あの頃”に訪れた東京、パリ、ベニスへ向かう。それは、ノスタルジックにして残酷な、光と破滅の軌跡をたどる旅――。



傑作『ベニスに死す』、語られることのなかった知られざる裏側

日本でも大ヒットした映画『ベニスに死す』のビョルンの圧倒的な存在感は、アーティスト達のインスピレーションの源となった。少女漫画の黄金時代を作った「ベルサイユのばら」の主人公・オスカルモデルはビョルンだった、と作者・池田理代子氏は本作で明かす。しかし“世界で一番美しい少年”という称号は、残酷な運命を引き寄せてもいく。

すべての始まりは、究極の美を体現したような少年タジオ役を探していた巨匠ヴィスコンティとの出会い。そのオーディションや撮影の風景、カンヌの華やかな狂騒から来日時の熱狂まで、『ベニスに死す』にまつわる豊富なアーカイブ映像が浮き彫りにする傑作の裏側。50年の時を経て今、真実が明かされる――。



監督: クリスティーナ・リンドストロム & クリスティアン・ベトリ

出演: ビョルン・アンドレセン『ベニスに死す』『ミッドサマー』等

製作国: スウェーデン/ 英語・スウェーデン語・仏語・日本語・伊語 / 2021/シネスコ/5.1chデジタル/98分/字幕翻訳: 松浦美奈

後援: スウェーデン大使館 配給: ギャガ GAGA★ © Mantaray Film AB, Sveriges Television AB, ZDF/ARTE, Jonas Gardell Produktion, 2021

gaga.ne.jp/most-beautiful-boy

[@1217beautiful_b](https://twitter.com/@1217beautiful_b)

[@most_beautifulboy_in_the_world](https://www.instagram.com/most_beautifulboy_in_the_world)

[facebook.com/gagajapan](https://www.facebook.com/gagajapan)

[@gagamovie](https://www.instagram.com/gagamovie)

12/17(金) 全国ロードショー!